

# ひろか

だより

第390号

令和7年1月1日

発行

弘果

弘果 弘前中央青果株式会社

津軽の「うまい」がここにある

毎週土曜は



弘前水産

土曜日 7時~10時



## 謹賀新年



## 新春を迎えて

弘果 弘前中央青果株式会社

代表取締役社長  
葛西 静 男

令和7年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。また、平素は弘果ならびにグループ各社に對しまして、格別のお引き立て、ご厚情をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

令和6年を振り返りますと、この年の世相を表す漢字が「金」となつたように「20年ぶりの新紙幣発行」「物価高騰」「政治の裏金問題」「佐渡島の金山世界遺産登録」「金メダルに沸いたパリ五輪・パラリンピック」等多岐に渡る「金」にまつわる話題が取り沙汰された一年でした。そして、

混乱を極める国際情勢は、各国の政治経済に大きな影響を及ぼし、また、国内外で大きな選挙が多数行われ、その結果が今後の、政治、社会、経済状況へ大きな変化をもたらす要因となり、決して楽観できない状況が続いています。

農作物の生産、流通においては、暖冬、春先の低温、夏場の猛暑等の気象的要因により、品質や収穫量に深刻な影響を及ぼし、需給バランスが崩れ、消費動向、価格等が大きく変動しました。当社取扱いの青果物におきましても、天候や産地間リレーで生産量、価格が変動することを前提に、産地や消費地の情報を的確にとらえ、生産・消費双方をつなぎ、各需要へ応えるべく取り組んだ一年となりました。また、主力品目であるりんごは、一昨年の猛暑や春先の

天候の影響から、総体的に着果量が少なく、結果入荷量が減少し、加えて下位等級品の割合が多い入荷となりました。しかし、他県産りんごの出回り量も少なかったことで、早生種から国内での引き合いが強くなり、更に海外需要や長期CA貯蔵品の仕入れから、上実から下位等級品まで非常に堅調な取引となりました。

令和7年を迎え、生活、経済、情報等、あらゆる面で変化し続ける現在、当社にとつても、青果物流通の革新に対応を余儀なくされております。しかし、このような中でも、創業の理念を説いた社歌である「弘果の歌」の一節から、これまで積み重ねてきた「広域と組織の力」を発展させ、「心ひとつの弘果」の「精神（こころ）」で、「幸福をきずく使命」の重責を肝に銘じ、「繁栄の時代は進む」ことを確信し、これまで築き上げてきた歴史を更に重ねてまいります。また、会社指針にある通り、地域に對し誠実に奉仕し、創意工夫して難題を乗り越え、未来に向けて改革挑戦することで、「地域と共に歩む企業」として、生産者、買参人、消費者をつなぎ、農作物の生産と流通を通して、産業、経済の活性化を図り、地域の発展により一層貢献していく所存であります。

つきましては倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

- 弘果 弘前中央青果(株)
- 弘前丸魚(株)
- 弘果総合研究開発(株)
- 津軽りんご市場(株)
- 弘果物流(株)
- 弘果コスモ保険サービス(株)
- 弘前水産地方卸売市場(株)
- スコール(株)
- 弘果りんご園(株)

- 弘果総合食品卸売組合 会長 山田 明宏
- 弘果青果仲卸組合 会長 中山 慎
- 弘果 弘 青 会 会長 葛原 和典
- 弘果地場やまの連絡協議会 会長 相馬 義彦
- 弘果 弘 栄 会 会長 尾崎 和彦
- 弘果花き連絡協議会 会長 高杉 成春
- 弘果りんご買参人共進会 会長 葛西 万博
- 弘果りんご買参人共進会青年部 部長 白藤 功太郎
- 弘果りんご連絡協議会 会長 須藤 恵司
- 弘果りんご連絡協議会婦人部 部長 福土 すみえ
- 弘果りんご連絡協議会青年部 部長 外崎 誠也
- 青森オレンジナレモン生産連絡協議会 会長 渋谷 充
- 青森オレンジナレモン生産連絡協議会青年部 部長 吉田 匡克
- 津軽りんご市場峰会 会長 竹谷 保
- 津軽りんご市場連絡協議会 会長 小関 清隆
- 津軽りんご市場連絡協議会青年部 部長 木村 イク子
- 津軽りんご市場連絡協議会青年部 部長 村山 誠也
- 弘前水産仲卸組合 理事長 山内 伸和
- 弘前水産冷蔵協同組合 代表理事 小野 貴志

# 令和7年を迎えて

弘果グループ関連の生産者団体の会長に昨年を振り返ってもらい、業界を取り巻く情勢を踏まえ、令和7年に向けた取り組みについて展望していただきました。

## 弘果りんご連絡協議会

須藤 恵司 会長



これまで、全体的に良い価格で取引され、我々生産者はとても感謝している次第です。

令和6年のりんご生産を振り返ると、一昨年の猛暑や春先の天候が影響し、総じて良品物が少なく、下位等級品の割合が多くなりました。また、着果量減少から収量が上がらない園地もあったと聞いております。生産現場では、影響を最小限に抑えるため栽培管理を徹底し、品質、食味の向上に努めた結果、弘果ならびに買参人の皆様のおかげをも

## 津軽りんご市場連絡協議会

小関 清隆 会長



業を行ってきまして。これもひとえに、津軽りんご市場、津軽りんご市場、関係各位の皆様方のご尽力の賜物であり、あらためて感謝申し上げます。

昨年は、当会が発足し30周年を迎えた記念の年でした。出荷組合・支会等の会員の親睦を図り、りんご産地を育成し、農業経済を豊かにすることを目的に掲げ、これまで事

が混在しております。

常々申し上げておりますが、生産者が栽培経験を活かして、知恵を出し合って対策を施し、共有していく場こそが当協議会の在り方だと考えます。その一例として、徹底した防除は、病害を抑え、高品質生産へつながる認識を持ち、防除を「防除暦」頼みにするのではなく、各会員の知識や経験に基づいた方法を集約し、組織全体で取り組むことが大事だと考えます。加えて、私が会長就任時に決意表明として話した、座右の銘でもある一文字「手」が改めて重要となります。「手を差しのべる」「手ほどきする」「手を合わせる」等、「手」が含まれる言葉は、人間関係構築の要点となります。当協議会は、生産者及びりんご産業

の後の生育に大きな影響を及ぼし、全体的に収量が減り、下位等級品の割合が多くなりました。会員並びに津軽りんご市場へ出荷している皆様におかれましては、栽培管理に苦勞した一年になったと思えます。皆様の努力の甲斐があり、また、りんごの収量を背景に、市場では下位等級品も含めて良い価格で取引されました。

令和7年に向けて、国内外の経済環境の変

化、地球温暖化による異常気象、さらには生産者の高齢化や後継者不足による生産園地の減少など、本県基幹産業であるりんご産業には課題が山積しております。しかしこれまでも我々生産者は、幾多の自然災害やりんごの病害、景気の低迷で苦境に立たされたながらも、悲観することなく、知識、技術を向上させ、高品質で美味しいりんごを生産し続けてきました。これからも課題解決へ向けに努力し、りんごの産地維持及び業界全体の活性化に努めて参ります。

## 「巳年」文字絵りんご



岩崎智里氏 作

## 青森オリジナルメロン生産連絡協議会

渋谷 充 会長



令和6年のメロンの状況を振り返りますと、生産面において、シーズン前半は乾燥の

影響で小玉傾向、後半は降雨の影響もあり正品率が大幅に低下しました。また出荷・販売面において、弘果、買参人各位のおかげをもちまして、今年もシーズン

を通して堅調な相場で取引され、生産者一同この結果に安堵し、来シーズンに向けて大きな励みとなりました。

近年の状況を鑑みますと、令和4年の記録的豪雨、5年の猛暑等、メロン生産現場も異常気象、気候変動の影響を大いに受けていると言っても過言ではありません。また、止まらない生産コストの上昇

や、各種病害への対応等、予断を許さない状況です。それらに対応していくため、暑さに強い品種の導入を検討し、暑中の作業の危険性を回避する方法を考えていく等、会員の経験と英知を結集し、出来る限りの対策を講ずる所存です。

## 弘果花き連絡協議会

高杉 成春 会長



はありますが、現状を維持することができ、好転の見通しが立たず、このまま生産者、生産量の減少ともなれば、当協議会の存続に大きく関わってきます。

花きの生産現場において、各種物価高による生産コストの増加、高齢化や採算が合わない等の要因と、元々花き専業農家が少ないことから、廃業、栽培品目の転換等により、生産量減少が危惧されています。昨年も、コロナ禍で落ち込んだ需要が、緩やかに回復してきている実感

令和7年を迎えるにあたり、花き業界全体が厳しいと言われていますが、我々生産者は、供給面から業界を盛り上げていくため、品質向上や安定供給は勿論のこと、消費動向の多様化に対応していくことが重要です。

日々の生活に潤いを与え、見る人を幸せにし、心の豊かさを育む必需品である花が、常に身近にあるライフスタイルへの構築に向けて、提案する良い機会となっております。弘果花き部の競り場に掲げている「お花いっぱい幸せライフ」を引用させていただきます。皆様の「幸せライフ」に花きが彩りを添えられるように、「お花いっぱい」を絶やすことなく生産に励み、種として時いた地道な努力、活動が「花」開くことを願って取り組んで参ります。

## 弘果地場やさい連絡協議会

相馬 義彦 会長



昨年は全国的に、春の低温、夏の高湿等、気象的要因が影

響し、野菜の生産量、価格が大きく変動した一年となりました。天候や産地間、レールで生産量、価格が変動することは承知していますが、「安定供給と「安定」

した価格の需給バランスが保たれることが、農業経営の「安定」につながることを改めて実感しています。

令和7年を迎え、地場やさいのこれからを展望しますと、販売の最前線である市場、仲卸、小売店等との情報交換を通して、消費動向やニーズを知り、生産現場へフィードバックしていくことで、年間を通して魅力あふれる野菜を生産し、その美味しさと良さを発信していく活動いたします。

今年も弘果、青果仲卸、買参人との情報交換を密にし、会員への有益な情報提供と「地場やさい」の消費拡大及び活性化に向けて、積極的に活動いたします。

# 毎年恒例新春特別企画

## 「巳年」生まれに3つの質問



- ①…昨年はおあなたにとってどんな年でしたか。
- ②…今年の抱負・決意をお聞かせ下さい。
- ③…「巳(蛇)」でどんなことを連想しますか。

①：「日々花を届けた」という思いから、お客様のニーズに応えられるように情報収集を行い、流行を取り入れた品種展開と、適性を見極めて試行錯誤しながら、一年を通しておよそ300品種の鉢花を栽培しています。令和6年も、多種多様な植物の栽培に挑戦し続け、駆け抜けた年でした。



たけとも  
**林 文智さん**  
陶花園 (花き生産者)  
(青森市浪館)  
昭和52年生まれ

①：私達の組合が誇る「松倉なす」は、鮮やかな色、光沢、日持ちの良さが特徴で、自信をもって栽培、出荷しています。昨年は夏場の高温が生育に大きな影響を及ぼし、収穫量が落ち込みましたが、単価高でカバーした一年でした。近年続く資材



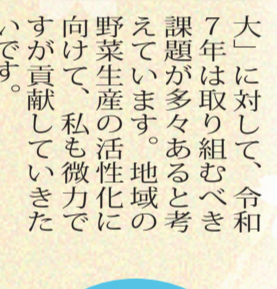
たかふみ  
**北島 孝文さん**  
松倉そ菜出荷組合  
(板柳町滝井)  
昭和52年生まれ

②：「蛇」は「変わらぬ心」「不変の心」「深い思いやり」です。私も花き栽培において、この言葉と同様の気持ちで花と向き合っています。この草とはお互い「蛇」つながりで、何か共通するものがあるのかもしれないですね(笑)



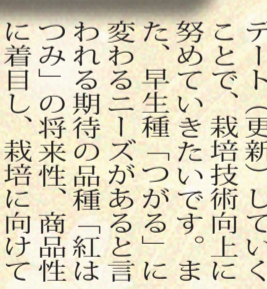
たかゆき  
**藤野 貴之さん**  
東日流青果株式会社  
(黒石市松葉町)  
昭和52年生まれ

②：「地場やさい連絡協議会」の副会長として、当会の設立目的である「地場やさい農家の所得向上」「生産の拡大」に、今年も栽培する品種を、綺麗に力強く咲きほこらせ、地域に「花」のある暮らしを提供していきたいです。



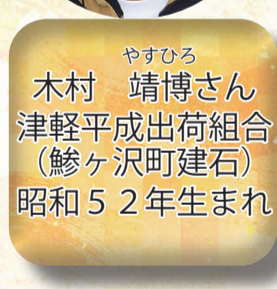
やすひろ  
**木村 靖博さん**  
津軽平成出荷組合  
(鮭ヶ沢町建石)  
昭和52年生まれ

①：輸入果実をメインに担当していますが、昨年は国産果実の販売にも携わり、仕事の幅が広がり、勉強になる事が多く、やり甲斐を感じています。新たな仕事に対して不安な面もあり、上司や同僚にサポートしていただいたことを感謝し、もっと自信をもって取り組むべきだと今更ながら思います。また、世の中でも様々な事が起きましたので、色々な意味で「激動の年」と言える一年でした。



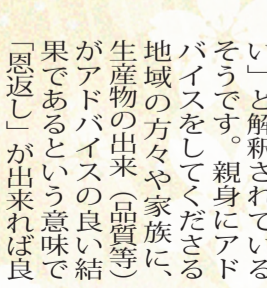
ゆきひろ  
**山本 信夫さん**  
マル菰生産出荷組合  
(つがる市木造菰槌)  
昭和52年生まれ

③：「蛇の髭(ジャノヒゲ)」クサスギカズラ科の常緑多年草で、花言葉は「変わらぬ思い」「不変の心」「深い思いやり」です。私も花き栽培において、この言葉と同様の気持ちで花と向き合っています。この草とはお互い「蛇」つながりで、何か共通するものがあるのかもしれないですね(笑)



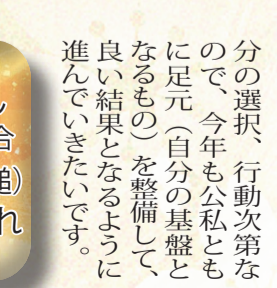
ゆきひろ  
**山本 信夫さん**  
マル菰生産出荷組合  
(つがる市木造菰槌)  
昭和52年生まれ

①：自分は本格的に就農してからまだ年月が浅く、就農してからは病害、大雨や猛暑等の気象的な影響を大きく受けているので、りんご栽培は常にこういう激動の条件のもと、対策を講じて行っている。昨年は、着果量不足による収量減で、且つ着色不良に悩まされた一年でした。



ゆきひろ  
**山本 信夫さん**  
マル菰生産出荷組合  
(つがる市木造菰槌)  
昭和52年生まれ

①：自分は本格的に就農してまだ年月が浅く、就農してからは病害、大雨や猛暑等の気象的な影響を大きく受けているので、りんご栽培は常にこういう激動の条件のもと、対策を講じて行っている。昨年は、着果量不足による収量減で、且つ着色不良に悩まされた一年でした。



ゆきひろ  
**山本 信夫さん**  
マル菰生産出荷組合  
(つがる市木造菰槌)  
昭和52年生まれ

①：近年は、何かしらの被害や、大雨、高温等の異常気象に見舞われていて、令和6年は春先の天候が影響し、着果量不足による全体的な数量減や下位等級品が多くなりました。しかし想像以上の良い結果で取引され、一喜一憂して一年でした。



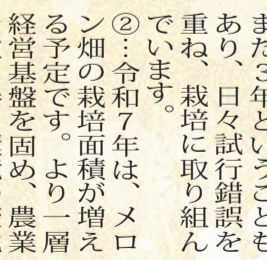
ゆきひろ  
**山本 信夫さん**  
マル菰生産出荷組合  
(つがる市木造菰槌)  
昭和52年生まれ

②：知識、経験の蓄積は勿論、感覚的ではなく、理論的にりんご栽培を考え、実践していく年にしたいです。「温故知新」とよく言いますが、先人の知恵が詰まって確立されてきた栽培方法を踏襲するとともに、過去と気象要件等が変化している現状を踏まえて、アップデート(更新)していくことで、栽培技術向上に努めていきたいです。また、早生種「つがる」に変わるニーズがあると言われる期待の品種「紅はつみ」の将来性、商品性に着目し、栽培に向けて取り組んでいきます。



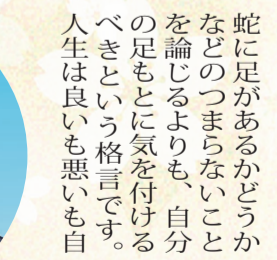
ゆきひろ  
**山本 信夫さん**  
マル菰生産出荷組合  
(つがる市木造菰槌)  
昭和52年生まれ

②：取材を受けた当日が青年部の忘年会ということもあり(笑)、りんご農家の若手が交流し、また、津軽りんご市場連絡協議会青年部や、弘果りんご買参人共進会青年部と、情報交換や親睦を深める事で生み出すパワーが、



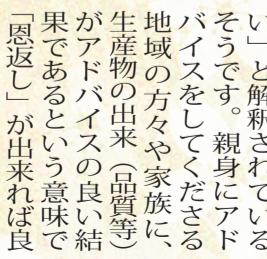
ゆきひろ  
**福沢 幸仁さん**  
国吉出荷組合  
(弘前市国吉)  
平成1年生まれ

①：アーバンデリシャス、ピノガール、カブ等、多品目の野菜、果物を栽培しています。本格的に就農してからまだ3年ということもあり、日々試行錯誤を重ね、栽培に取り組んでいます。



ゆきひろ  
**福沢 幸仁さん**  
国吉出荷組合  
(弘前市国吉)  
平成1年生まれ

③：「毒」ハブやマムシ等の毒蛇を想像します。しかし、アルコールに漬けて「ハブ酒」「マムシ酒」などにして飲むことが知られており、滋養強壮にとっても良いそうです。また、蛇の毒から薬を創る研究もされていて、「毒と薬は紙一重」とも言われています。



ゆきひろ  
**福沢 幸仁さん**  
国吉出荷組合  
(弘前市国吉)  
平成1年生まれ

③：「執念深い」良い意味で、「恩を忘れない」と解釈されているそうです。親身にアドバイスをしてくださる地域の方々や家族に、生産物の出来(品質等)がアドバイスの良い結果であるという意味で「恩返し」が出来れば良いと考えています。



ゆきひろ  
**福沢 幸仁さん**  
国吉出荷組合  
(弘前市国吉)  
平成1年生まれ

# 永年勤続優良社員表彰式



当社の永年勤続優良社員表彰式が12月20日、弘前市のフォルトーナにおいて行われました。表彰者は次のとおりです。(敬称略)

**【40年表彰】**  
齋藤彰寿(津軽りんご市場)、福田美継(りんご部)

**【30年表彰】**  
宮川智男(津軽りんご市場)、森 悟(花き部)、鶴田 章(商事部)、笹 昭人(りんご部)、木田竜太(商事部)、齋藤園絵(弘果物流)

**【20年表彰】**  
山田真弘(総務部)、齊藤 裕(りんご部)、葛西寛海(野菜部)、福土元紹(りんご部)、三浦真規子(総務部)

**【10年表彰】**  
佐々木祐弥(りんご部)、宇野元基(りんご部)、古川満里奈(弘果総合研究開発)、三浦暖佳(精算部)

表彰された方々おめでとうございます。



弘果総合研究開発では令和5年、りんご栽培において作業の効率化、早期多収が期待されている「りんご高密植栽培」の経営モデル園を弘前市小沢地区に開設しました。同園は、弘果総研が管理する研修園地1畝と、新規就農者に譲渡予定の4畝の計5畝の他、シャインマスカット等を栽培するハウス10アールで構成され、3年後の完成を目指しています。令和5年にりんご高密植栽培園地60アールへ定植を行い、令和6年には140アールを追加整備し、新規就農希望の研修生2名を任命しました。研修生は同社社員として2年間の研修を経た後、その研修園地50アールがそれぞれ割り当てられ、有償提供という形で独立、就農する仕組みです。これから毎年2人ずつ、4年間で計8人を受け入れる予定です。研修生は、栽培実習に加え、冬期間の作業ができない時間を活用し、経営などの研修も行います。独立後も支援を継続して、園地の規模拡大や事業継承を図り、早期の経営安定を目指します。またモデル園地では、JGAP認証(安全かつ効率的に持続可能な農場運営を行うための基準を満たし



## 新規就農を目指して研修スタート！弘果総合研究開発経営モデル園

た農場や団体に与えられる認証)を取得し、リスク管理をしたほ場運営を行っており、安全・安心な労働環境が整っています。研修生1期生の齋藤良一さん(30)は、この取り組みについて「栽培技術や農業経営等、学ぶことは多岐に渡ると思います。研修のなかで、農業の新たな価値可能性を発見していきたい」と話し、野呂晃貴さん(30)は「研修、独立を経ていざれば自分たちがリーダーとなり、農業を盛り上げていきたい」と意気込み、お互い切磋琢磨しながら研修に励んでいます。モデル園地は園地視察についても対応しており、高密植栽培に興味がある方、取り組んでみたい方、出荷組合の研修など、お気軽にご来園ください。また、研修生の募集も行っておりますので、詳細は弘果総合研究開発にお問い合わせください。

弘果トレサレセンター 営業時間変更のお知らせ

**【期間】** 1月5日(日)～2月28日(金)

**【時間】** 午前8時～午後4時

**【休業日】** 市場休業日 (弘果カレンダー参照)

弘果QR  
弘果総研  
0172-29-4184



## 田舎館いちご現地検討会・目揃え会開催

クリスマスや年末年始の出荷最盛期に向けて田舎館いちご研究会(平川剛志会長)では12月14日、現地検討会、目揃え会を行いました。同会が出席するいちごは、平成28年から田舎館ご当地キャラクタ「いち姫」がデザインされたパッケージをまとい、「食味」「品質」とことごとくこだわって生産されています。昨年から、長年親しまれてきた初代「いち姫」デザインをリニューアルし、青森県内外へ「いちごの産地」田舎館「美味いいちご」田舎館産」を発信しています。現地検討会では、各会員のハウスを回り生育状況を確認、温度管理や病害虫の防除等、栽培環境について意見交換しました。その後行われた目揃え会では、パックの詰め方や粒揃え等、出荷規格の統一を図ることを各会員が確認しました。平川会長は「当会は、会員同士の交流が盛んであり、平日頃から情報交換、共有等を行っています。今日の集まりは、出荷最盛期を前にして、共通の意識を持ち取り組むことを確認する良い機会として、関係各所の方々と交えて開催しています。会員の意識、意欲の向上を図ることにより、研究会及び田舎館いちごブランドの更なる発展につなげていきたい」と話していました。

## 創立30周年の節目祝う

津軽りんご市場連絡協議会(小関清隆会長)創立30周年を記念して12月14日、板柳町多目的ホール「あぶる」において、会員、関係者313名が出席し、式典が開催されました。同会は、出荷組合、支会「創立30周年を迎え、関係各位に感謝申し上げるとともに、山積するりんご産業の課題へ、皆様方と協力しながら、津軽のりんごを守る」とともに、次世代に引き継いでいくことが、私達りんご生産に携わる者としての重要な使命と考えており、今一度、志を高く持ち、さらなる成長、飛躍を目指してまいります」と挨拶。その後、功労者や関係団体への感謝状の贈呈、優良出荷組合表彰、来賓祝辞、同会が主催するりんご展示会受賞組合の表彰、忘年会と続き、会場は祝賀ムードに包まれ、節目の年を祝いました。

## 津軽りんご市場連絡協議会りんご展示会受賞団体

- 津軽りんご市場連絡協議会(無袋ふじの部)(出品点数10)
  - 金賞: ダイヤモンド出荷組合
  - 銀賞: 深味りんご研究会
  - 銅賞: 太長月読出荷組合
- 【王林の部】(出品点数6)
  - 金賞: 西友会
  - 銀賞: 強巻出荷組合
  - 銅賞: 太長月読出荷組合
- 【最高糖度賞】
  - 丸果りんご出荷組合(無袋ふじ17・8度)
- 【津軽りんご市場社長賞】
  - ダイヤモンド出荷組合
- 【津軽りんご市場峰会長賞】
  - 西友会
- 津軽りんご市場連絡協議会婦人部(無袋ふじの部)(出品点数6)
  - 金賞: 三浦真紀子氏
  - 銀賞: 西友会
  - 銅賞: 木村 直美氏
- 【王林の部】(出品点数4)
  - 金賞: 木村 直美氏
- 津軽りんご市場連絡協議会青年部(無袋ふじの部)(出品点数4)
  - 金賞: 狐森かがやき出荷組合
  - 銀賞: 藤川 健治氏

## 令和7年開・休業日暦 各市場及び精算窓口で配布中

2025 令和7年 弘果開・休業日暦		2025 令和7年 りんごの専門市場 開・休業日暦	
1	2	1	2
3	4	3	4
5	6	5	6
7	8	7	8
9	10	9	10
11	12	11	12
13	14	13	14
15	16	15	16
17	18	17	18
19	20	19	20
21	22	21	22
23	24	23	24
25	26	25	26
27	28	27	28
29	30	29	30
31		31	

弘果弘前中央青果(株) (株)弘果物流 (株)津軽りんご市場 (株)弘果物流 弘果総合研究開発(株) 弘果コスモ保険サービス(株)

りんご無冷蔵品等早期出荷のお願い

弘果りんご部、津軽りんご市場では、令和7年初市後から「冷蔵品」「無冷蔵品」を区分けして販売します。消費者の皆様へ鮮度の良いりんごをお届けするため、特に無冷蔵品は、早めの出荷をお願いいたします。

各社ホームページでも公開中